

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校
令和 3 年度学校経営報告書

令和 4 年 3 月

報告内容

1.	学校経営目標	1
2.	令和3年度重点課題と自己評価	3
3.	体験入学及び入学選考	5
4.	各活動状況	7
5.	教育研究会アンケート	9
6.	保護者アンケート	14
7.	令和3年度高等部卒業生の進路先	22

1 学校経営目標

(1) 学校の現状と本年度の取組

令和4年度からの本学第4期中期目標・中期計画の策定に合わせて附属学校園将来構想「金沢モデル」の案が策定され、各校園の規模、教育・研究活動などについて今後の方向性が具体化した。特に教育・研究に関して、5つの校園が連携して取り組むこととしてGIGAスクール構想に基づくICT機器を活用した学習活動やプログラミング教育がテーマとして挙げられたが、本校の他校園との連携の実際については課題が多い。

令和2年度に附属学校園長採用・評価制度が作られ、各校園長は5年ごとの学校経営方針をまとめ、大学長や教育担当理事、附属学校統括長等に提案、評価を受けることになった。本校においては、これまでのキャリア教育研究に基づく教育実践の充実発展やカリキュラム開発、大学と連携した教員養成及び研究実践のさらなる推進を柱として学校運営を行うこととし了解を得た。

教育・研究活動においては平成30年度から3年間の、文部科学省「特別支援教育に関する実践研究充実事業（新学習指導要領に向けた実践研究）」を終了し、新たに文部科学省研究開発学校の指定を受けて令和3年度から4年間、「知的障がいのある児童生徒の国語力育成に関する研究」というテーマで開発研究を行う。また、大学教員や企業と連携したビジネス顕微鏡を用いたコミュニケーションの実証的研究の結果を、ホームページを通じて学校研究成果として発表したところ参加者から多くの関心を寄せられた。本年度も開発研究と関連させて継続する。

さらに、これまで取り組んできた育友会や地域住民と連携した防災講演会・研修会の実施、年間を通じた地域の保育園児との交流及び共同学習、地域住民との協働活動はコロナ禍の中で困難もあるが工夫して実施してきた。本年度も継続していく。

① 教育研究等

文部科学省研究開発学校の指定を受けて令和3年度から4年間、「知的障がいのある児童生徒の国語力育成に関する研究」というテーマで開発研究を行う。

また、大学教員・企業との連携による「ビジネス顕微鏡」を用いた児童生徒同士や教師とのコミュニケーションの実証的研究を開発研究と関連させて継続する。

新たに、教員個人の研究活動を後援会の協力を得て支援する。

② 教員養成等

本校は学校教育学類の教育演習や基礎実習、教職大学院の学校実習等に積極的に協力しており、令和2年度は16名の学生と2名の現職教員の受け入れを行った。本年度新たに教育実習等担当課を新設し、さらに大学学類教員と連携し教員養成のための内容の改善充実に取り組む。

本年度は13名の学生の受け入れと2名の現職教員の受け入れを行う。

③ 児童生徒の確保と入学者選考

5年間の入学選考応募者は平均で定員の2倍を超えており、昨年度2回の学校説明会の参加者は67名で、体験入学者数は42名、内受検者数は28名となり、令和3年度児童生徒数は小学部18名、中学部19名、高等部25名の合計62名で定員を満たしている。

入学選考のあり方は毎年改善を重ねており、本年度も昨年度の評価を踏まえて改善充実に取り組む。

④ 安全・安心の学校づくり

学校、育友会、後援会が連携して防災委員会を設置し防災対策に取り組んでおり、備蓄品を防災学習に活用しながら更新している。防災教育チャレンジプラン事業以降、防災学習を教育課程に位置付けて取り組んでいる。本年度も各部で防災学習に取り組むと共に学校防災委員会にて防災研修会を実施する予定である。

⑤ 学校運営

教育課程委員会の機能強化を図り学校経営方針に基づく教育課程の編成を行う体制が定着し、学校研究の成果を活かしながら新学習指導要領に示されるカリキュラムマネジメントが行われている。また校務会の定期開催により学校運営を行う上でフォロワーシップが高まりつつある。

令和2年度にプロジェクト型組織を導入し、課題に応じたプロジェクトグループで取り組んだ結果を元に、本年度は学校研究を教職員全員で取り組むプロジェクトと位置付け、研究課を廃止して大学と連携して教員養成を担う課を新設するなど学校運営体制の見直しを行った。

(2) 今年度の重点目標と取り組み（短期目標）

- ① 研究開発学校の指定に基づく開発研究の本格実施に向けた準備を行う。
- ② 教育課程の改善（教務課、各部）
- ③ 安心・安全な学校づくりを推進する。（指導課関連）
- ④ GIGAスクール構想への対応、働き方改革への対応（情報課関連）

(3) 学校評価計画

学校と保護者、関係者、地域の方が、児童生徒の実態や学校の現状と課題を共有化することを主旨に学校自己評価を実施する。評価の信頼性を向上させるために学校評議員会を開催する。

参考 金沢大学第3期中期目標・中期計画（附属学校に関する目標・計画 ※抜粋）

中期目標

〔1-4-(3)〕

附属学校園と学校教育学類及び教職大学院との協働により、教育研究活動を組織的に推進するとともに、先導的・実験的な教育活動に取り組む。

中期計画

〔10-1〕 石川県を中心とする教員養成の中核を担い、先導的な教育モデルを提唱する教育研究機関として、全国的にも希な幼稚園、小中高等学校、特別支援学校の5校園を有するという特色を生かし、先導的な学校実習の場として学校教育学類及び教職大学院における教員養成システムの一翼を担うとともに、本学独自の教育研究GP事業を展開する等、大学と附属学校園の協働による先導的・実験的な教育実践研究を展開する。

中期計画

〔10-2〕 教育モデル校として、第2期中期目標期間において各校園が取り組んだ教育研究活動実績をもとに、幼小連携、中学校におけるESD研究、高等学校におけるスーパーグローバルハイスクールカリキュラム研究等、特色ある先導的・実験的な教育活動を展開し、石川県教育委員会との連携により、その成果を地域に還元する。

2 令和3年度重点課題と自己評価

重点課題と自己評価						評価	相定基準	備考
重点課題	担当	具体的取組	現状	評価の観点	達成度判断基準			
研究① 重点目標① 教育・研究活動 (自立と社会参加に関する能力の育成)	研究部 プロジェクト研究推進室 小学校部 中学校部	国語科で学習したことの確認が他の学年で合意された指導や各教科等を含む小学校教科書の選択を行うため国語科の授業を行なう。	・研究推進委員会による委員会を実施し、各担当機関の情報共有を行なう。・内での情報共有を行なう。	・今年度から新しい体制となるが、これまでの情報共有が変わらぬまま継続する。・各担当機関の情報共有や改善ができたか。	[評価：A]：月に1回以上の研究推進委員会を実施し、各担当機関の情報共有や改善ができたか。[評価：B]：月に1回以上の研究推進委員会を実施し、各担当機関の情報交換や、業務内容改善による改善が必要となる。	[評価：A]：月に1回以上の研究推進委員会を実施し、各担当機関の情報共有や改善を行なうことができた。[評価：B]：月に1回以上の研究推進委員会を実施できなかった。	[評価：A]：月に1回以下の場合、研究推進委員会は必要に応じて行った。そこで各担当機関の情報交換や、業務内容改善を行なうことができた。 [評価：B]：月に1回以下の研究推進委員会を実施できなかった。	11月に計画的見直しを行い、観点を変更した。
教育課程の改等 重点目標② 教育課程会議委員会 英語	高学年部 教育課程会議委員会 英語	今年度の国語力の育成の取組として、音韻力の育成を中心とした取り組みを行なう。各教科等における漢字練習を開設して毎週水曜日に行なう。定期的に漢字テストを行い定期的に検討し、改善を図る。	【成果指標】 小学校国語科「読む」の部分的な学習目標、内容を適度に用いた国語科の授業を行なう。	【成果指標】 小学校国語科「読む」の部分的な学習目標、内容を適度に用いた国語科の授業を行なう。	A：4回以上 B：回数通りに実施できなかった。 C：回数通りに実施できなかつた。	[評価：A]：語彙以上に実施した。 [評価：B]：語彙通りに実施できなかつた。 [評価：C]：語彙通りに実施できなかつた。	[評価：A]：語彙以上に実施したことが十分に評価できていなかつた。 [評価：B]：語彙通りに実施できなかつた。 [評価：C]：語彙通りに実施できなかつた。	11月の段階でB以下の場合には、問題点を検討し計画の見直しを行なう。
2 安心・安全の確保 重点目標③ 安心づくり 災害時（地震）の対応マニュアルの見直し	新規コロナウイルス感染症の発生による準備・職員の役割分担の整理	休日や夜間の災害時（地震）に対する準備として、各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画、個別指導計画について検討し、改善を図る。	【評価指標】 新規コロナウイルス感染症の発生による準備・職員の役割分担の整理	【評価】 新規コロナウイルス感染症の発生による準備・職員の役割分担の整理がなっている。	A：できた B：できなかつた C：3つとも検討途中のままでなっている	[評価：A]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について見直しがなされている。 [評価：B]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について検討し、見直しがなされたが、まだ検討途中のままでなっている。 [評価：C]：3つとも検討中のままでなっている	[評価：A]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について見直しがなされている。 [評価：B]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について検討し、見直しがなされたが、まだ検討途中のままでなっている。 [評価：C]：3つとも検討中のままでなっている	11月の段階でB以下の場合には、問題点を検討し計画の見直しを行なう。
3 教育と業務 タリ化 におけるデジタル化	GIGAスクール構想への対応 情報課	災害時（地震）の対応マニュアルの見直し	新型コロナウイルス感染症の発生した場合の対応マニュアルと対応マニュアルとの見直しを行なう。また、教員が対応する際の具体的な実際の見直しを行なう。共通理解を図ること。	【評価指標】 新規コロナウイルス感染症の発生による準備・職員の役割分担の整理がなされている。	A：できた B：できなかつた C：できなかつた。	[評価：A]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について見直しがなされている。 [評価：B]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について見直しがなされたが、まだ検討途中のままでなっている。 [評価：C]：3つとも検討中のままでなっている	[評価：A]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について見直しがなされている。 [評価：B]：各教科等の授業時数や指導形態、年間指導計画について見直しがなされたが、まだ検討途中のままでなっている。 [評価：C]：3つとも検討中のままでなっている	11月の段階でB以下の場合には、問題点を検討し計画の見直しを行なう。

担当部署	具体的取組	現状(課題)	取組結果
教育実習等担当課 総務課	本校教員から教員としての大好きな思い出と いった印象深いエピソードを一つずつ提供 してもらったものをまとめ、実習生へ提供す る	・講話の一つとして、教職大学院からの学校実習生に 教職についての実体験を話してもらっている。 ・実習中は多忙になるため、指導案作成や授業づくり以 て実習生と話をする機会はなかなか取れな い。	・本校教員から多くのエピソードが集まり、課でテーマ別に整理してま とめ、実習中に学生へ配布した。 ・実習後のアンケートでは全学生が肯定的な回答をしていたので、特に 教職を志望している学生の将来へのモチベーションにつながったのでは ないかと思われる。
進路指導担当者会	用度の管理をしっかりと行っていく	・職員室の物品がない場合に自分たちで事務倉庫から 必要な物品を持っていく傾向があるので総務課として物 品の補充をこまめに行う。	・職員室のキャビネットを整理し、こまめにチェックしていくことで物品の管理が しっかりと行えた。 ・キャビネットにない物品については消耗品購入希望の用紙を用意し請求して もらうようしたことで、現状必要なものを把握することにつながった。 ・コピー用紙の管理についても事務倉庫を確認することで現状を把握し、年度末 に用紙が足りなくなることを職員に伝え、節約の呼びかけを行うことができた。
自立活動担当者会	職員の進路研修を充実したものにする	・コロナ禍により、十分な研修ができるいない これまで、全員での研修形態で実施されており、所属 学部の年齢に応じた進路研修になつていいない ・本校の進路指導についての共通理解が十分ではなく く、学部間の連携した進路指導について弱いと感じてい る	・学部ごとに研修を企画したが、実施時期にまん防措置が取られる等に より、実施できなかつた。(小・学部実施、中・高等部中止) ・保護者学習会実施時に職員も参加したり、同じ資料を共有して充実を 図つた。 ・高等部職員向けの研修を4月に実施予定。
相談・支援担当者会	相談と報告会を充実したものにしていく	・抽出児童生徒に対して外部講師の助言を受け指導を している。年度当初の目標設定と学期毎の評価は、学 部ごとの自立活動ケース会で話し合い、外部講師の助 言を受けて行う。外部講師との話し合いは学部での ケース会で共有する。年度末には報告会として全職員 で共有する。	・抽出児童生徒に対しての指導は外部講師の助言を受けながらできた。 ・自立活動担当者会の集まる頻度も丁度よい。(何度かは集まらないにし た) ・研修を充実したものにするためには、自立活動ケース会議①や年度当 初の職員会議時に自立活動評価表について話し合う機会があるとい ふと感じた。
	相談・支援の体制を周知していく	・4月の職員会議で相談支援体制を周知、4月末に保護 者宛に相談支援体制のお知らせを配布している。 ・上記の時期以外に相談支援の体制を周知する活動は 行っていない	・4月の職員会議で相談支援体制を周知、4月末に保護者宛に相談支援 体制のお知らせを配布した。 ・保護者や卒業生からの相談があつた際は、個人で相談を受けず、相談 支援(健康・進路・就学)担当につなげる体制がとれていた。

3 体験入学および入学選考

(1) 過去3年間の体験入学者数と受検者数

体験入学者数				
学部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年比
小学部	11	10	4	-6
中学部	13	13	7	-6
高等部	9	15	14	-1
全 体	33	42	25	-13

総受検者数及び体験入学をした受検者数				
学部	令和元年度 総受検者数	令和2年度 総受検者数	令和3年度 総受検者数	令和3年度 体験入学等を 経た受検者数
小学部	8	8	3	1
中学部	12	9	3	3
高等部	6	13	6	6
全 体	20	26	12	10

※ R3年度は小学部のみ体験入学、中学部・高等部は学校見学

(2) 体験入学アンケートから

回答数 小学部 3 / 4

○体験入学は期待にそえるものだったか

項目	小
期待通りだった	2
あまり期待通りではなかった	1
期待外れだった	0
わからない	0

○本校の入学選考を受けるか

項目	小
受験したい	1
検討中である	2
受験しない	0

○検討中であると回答した理由について(選択式)

- ① 教育環境 ② 教育内容や教育活動 ③ 通学 ④ 学習集団
- ⑤ 入学選考 ⑥ その他

小学部回答者(3名) : ① ② ③ ④

(3) 今年度の傾向から

○取り組み

- ① 1 学期中に金沢市や近隣の市町村の特別支援学級担任と保護者を対象に学校説明会を開催した
- ② 学校説明会では、校長の説明に加えて、高等部生徒によるパワーポイントを使った作業学習の説明をした
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い高等部の玄関カフェの利用は行わなかった。
- ④ 見学希望者を隨時受け入れている

※今年度、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中学部・高等部は体験入学を行わず学校見学にしたこと、学校の良さが十分に伝わらずに入学選考に結びつかなかったと考えられる。次年度は、感染対策を十分に行なったうえで体験入学を実施していく。

○次年度に強化したい取り組み

- ・学校の良さが十分に伝わる体験入学

4 今年度の各活動状況

(1) 過去5年間の教育実習生等、学生の受け入れ人数

内 容	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
教育実習	4	7	8	6	10	35
学校実習	3	2	2	2	2	11
養護教諭実習	3	3	3	3	3	15
基礎演習	8	9	11	7	6	41
介護等体験	81	90	73	54	0	298
その他	1	12	4	3	0	20
合 計	100	123	101	75	21	310

※その他の平成30年度はスクールサポート、R1年度からは学校インターンシップ

令和3年度の介護等体験と学校インターンシップは受け入れ中止（新型コロナウイルス感染症拡大により）

(2) 令和3年度相談・支援 状況 (のべ回数)

内訳

校外相談	4
校内相談	13
卒業生	4

支援会議数

支援会議	4
B型アセスメント会議	4
移行支援会議（高3）	8

- ・校内相談では、薬服用等の健康相談がほとんどであった。
- ・校外相談は、就学相談がほとんどであり、入学選考前に相談が来る場合が多かった。
- ・障害福祉サービス提供事業所との支援会議は昨年度並みに実施できた。
- ・次年度の新入学生に対して、新型コロナウイルス感染拡大に伴い在校先にアンケート調査を依頼し情報を得る。

(3) 新聞に報道された行事等

- ・困り事取材へ友禅紙名刺入れ作り (10月 7日)
- ・文科省キャリア教育で表彰 (12月 22日)
- ・金大附属特別支援学校にプリンター (12月 7日)
- ・ティッシュ空き箱作業学習に第一生命支社金大附支援学校に寄贈 (11月 5日)

(4) 外部資金獲得状況

① 事業団体：文部科学省「教育研究開発事業」

研究課題：「自立と社会参加のための国語力を育む教育課程の探究～小学校等との「学びの連続性」の探究を通して～」

獲得資金：2,553,020円

研究責任者：山本 仁

② 事業団体：一般財団法人 きんしん環境財団

活動名：「花いっぱい運動」

獲得資金：50,000円

責任者：鶴尾千亜紀

③事業団体：北陸電力教育振興財団事務局

内 容：2021年度教育用品備品贈呈

獲得資金：25万円（プリンター3台）

責任者：山本 仁

④事業団体：科学研究助成事業

研究課題：視覚障害児専用触地図の研究

獲得資金：43万円

責任者：吉岡 学

⑤事業団体：公益財団法人伊藤忠記念財団

事業名：2021年度病院・施設子ども読書活動費助成事業

獲得資金：30万円

責任者：山本 仁

（5）地域貢献

<学校主催事業>

① 防災講演会・防災研修会 令和3年10月9日（土）

<第1部講習会>救急救命法

講 師：日本赤十字社石川県支部事業推進課 3名

<第2部

講 師：千葉県教育庁企画管理部教育総務課主幹 村山（旧姓：瀧川）猛 氏

参加者数：地域の方8名 保護者18名 教員14名 計40名

（6）大学連携

① 内容：学類・附属教員による学類授業の共同開発

（今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

－小委員会単位で行う5校園横断の学校インターンシッププログラムの企画・運営－

担当者：金沢大学教授 小林宏明 特別支援学校 鶴尾、小山内、中村、開敷、寺口

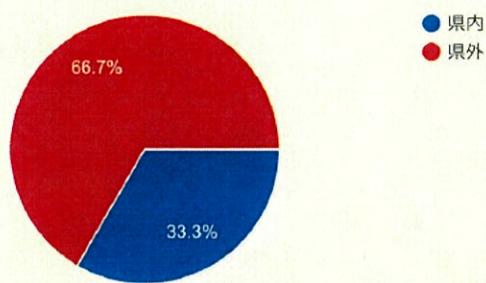
令和3年度教育研究会参加者アンケート 調査結果

参加者77名

Web アンケート回収(率)21名(27%)

1-1 どちらから参加されましたか。

21件の回答



1-2 どのような立場で参加されましたか。

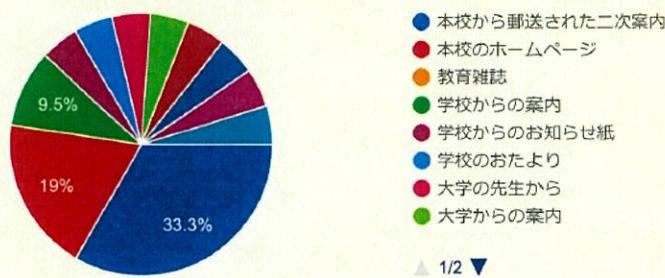
21件の回答



▲ 1/2 ▼

2. 本校の教育研究会の開催をどのように知りましたか。

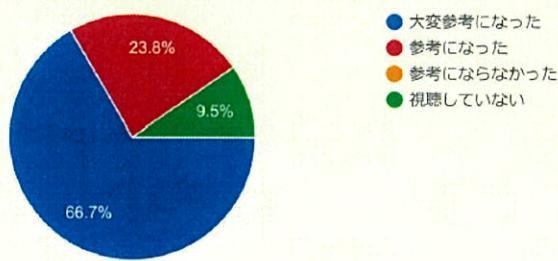
21件の回答



▲ 1/2 ▼

3-1 研究概要の発表は参考になりましたか。

21件の回答

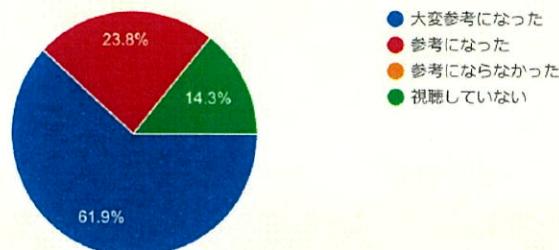


3-2 研究概要についてのご意見・ご感想

- とても分かりやすかった。事前に見ることができてよかったです。(多数)
- 小学校の教科 国語と特別支援学校教科 国語との連続性を研究している貴校の研究は、先進的でとても参考になりました。ありがとうございます。
- 小中学校での学習では、教科の目標を目指しています。特別支援学校では研究の段階から、つまりは授業から、社会を見据えた力を想定されていることに驚きました。
- 社会参加に大切な国語力について、それぞれの学部できめ細やかに目標を設定されていたことが大変参考になりました。中学校特別支援学級の国語においても、どの題材を使いながら指導していくのか課題であったので、教科書を使いながらの指導方法を本校でも取り入れたいと感じました。
- 将来必要な力について、実際のアンケート調査からの声を根拠にされたことがとても興味深く、「身に付けるべき資質・能力」として指標になると感じた。
- 小学校との学びの連続性という、難しい研究テーマに取り組まれているなかで、丁寧に目標や内容のつながりを明らかにしていくとともに、自立と社会参加のための国語力という視点からも検討をされていて、大変勉強になりました。また、各分科会との関連になりますが、国語力(特に語彙力)においては、幼保の学びの視点であったり、生活年齢との関連であったりと、様々な側面から関連を考えいくことの必要性も学ばせていただきました。など

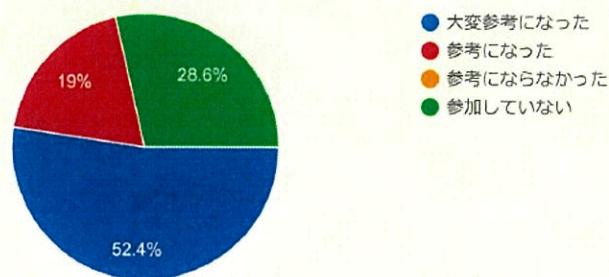
4. 講演会は参考になりましたか。

21件の回答



5-1 小学部分科会は参考になりましたか。

21件の回答

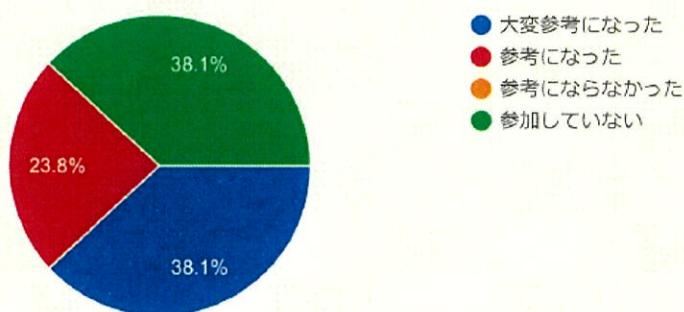


5-2 小学部分科会についてのご意見・ご感想

- ・関心があり楽しい気持ちのなかからことばが生まれるので、おむすびころりんの場面設定に子供たちが食いついたことに成果を感じました。国語の授業としては、言葉の習得と自分の思いを表現、伝えることがねらいになるのかも知れませんが(評価しにくいことかもしれません)子供たちの心が動いた、その思いを互いに共有しようとするようすが見られたことが良かったと思いました。
- ・これまで「小学校国語科との連続性」「星本の活用」などあまり意識していなかったので、今後、自校の実践も見直して、指導内容や教育課程の改善につなげたいと思います。とても参考になりました。
- ・まさしく、いろいろな場面で、いろいろな素材でアプローチをされる金大附属特支の先生方はとても素晴らしいです。また、滑り台は急であるべきだとお話しされていた先生がとても楽しげで、教材への熱い思いも、何より先生が楽しんでいることも素晴らしく思いました。ありがとうございました。など

6-1 中学部分科会は参考になりましたか。

21件の回答



6-2 中学部分科会についてのご意見・ご感想

- ・2グループの先生から学習形態の意図的变化や、声かけ、活動場所を整えることなど、丁寧な指導をお話いただきました。グッドモデルの明示により他児も安心することができるというお話を素敵でした。ありがとうございます。

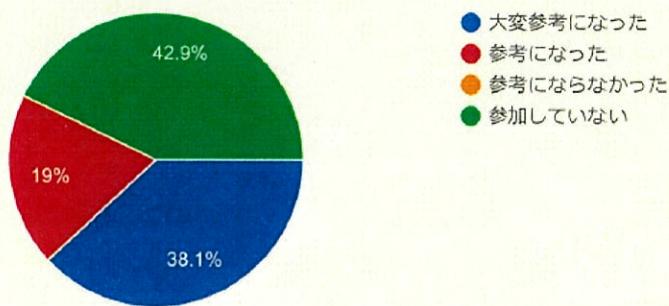
・先生方が授業を通して子ども自身の興味や関心を引くため、様々な形でアプローチしてくださっている姿勢に保護者として大変嬉しく感じました。その成果が子ども本人の視点や考え方、日常の会話に少しずつ現れているように思います。これからも研究の成果、子どもの成長に期待したいです。

・事前配信の動画と資料が大変分かりやすかったです。

実態に合わせて題材を設定するのではなく、同じ題材を設定して、実態に合わせて指導形態や支援を変える取り組みが、とても参考になりました。など

7-1 高等部分科会は参考になりましたか。

21件の回答



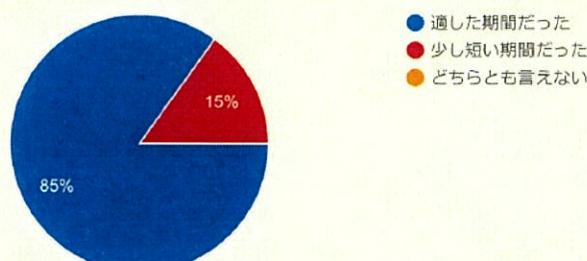
7-2 高等部分科会についてのご意見・ご感想

・企業アンケートを反映させながら、教科書と自作教材を工夫されていることがすばらしいと感じました。授業の目標が生徒にもわかりやすく、達成感を感じやすかったと思います。企業で求められる力として、報告するなどのときの言葉遣いや敬語などを教科書で取り上げているところもあったと思いますが、働くことと直結するような内容を高等部で取り上げる予定があるのか、今回の題材を取り上げるまでの選び方などもお話を伺いました。

・高等部段階の国語の扱いについて協議できてよかったです。など

8-1 事前動画配信を1月31日（月）から2月10日（木）の11日間行いましたが、いかがでしたか。

20件の回答



8-2 事前動画配信についてのご意見・ご感想

- ・事前に配信していただくことで当日までに準備ができるので有り難いです。
- ・学部別に研究概要と具体的な活動場面が動画の説明がされていたので分かりやすかったです。
- ・各学部の取組がよくわかりました。できれば、当日のお話を伺った上でもう少し見たかったです。
- ・事前に概要説明をお聞きできたので、当日の発表もよく分かりました。質問への丁寧なご回答ありがとうございました。など

9. その他気づいたことについてのご意見・ご感想

- ・オンライン研究会であったからこそ参加できました。とてもありがとうございます。感染症の流行は終息してほしいですが、次年度の内容にも興味・期待があります。準備や運営は大変かと思いますが、またオンラインで配信していただけるとうれしいです。ありがとうございました！
- ・研究会のご案内等から細かい点に、ご配慮を頂きましてありがとうございます。実際に金沢で研究会に参加した気持ちになりました。ありがとうございます。
- ・仕事の関係で部分的にしか参加できなかったことが残念です方、このテーマを自分なりに考え続けたいですし、貴校の実践の経過も見ていきたいと思います。丁寧な連絡、ありがとうございました。県内の関係者がもっと参加できたら良かったですね。
- ・国語力を育むための知見を多く得ることができました。有意義な時間をいただき、誠にありがとうございました。

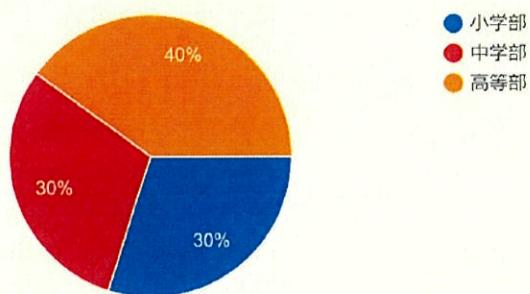
令和3年度学校研究（文部科学省開発研究）に関する 保護者アンケート調査結果

保護者 62 名

Web アンケート回収（率） 40 名（65%）

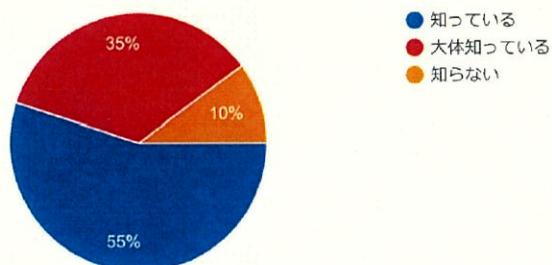
お子様の学部を教えてください。

40 件の回答



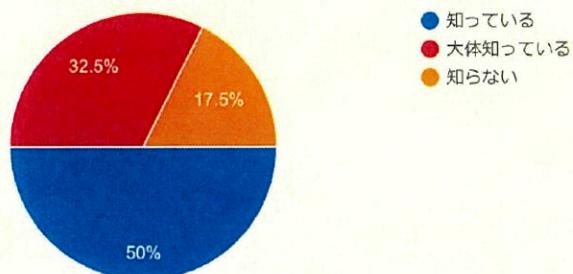
Q1-1 本校は文部科学省より令和3年度から4年間の研究開発学校の指定を受けて研究に取り組んでいます。そのことをご存じですか。

40 件の回答



Q1-2 令和3年度の学校研究テーマは「自立と社会参加のための国語力を育む教育課程の探究～小学校等と[学びの連続性]の探究を通して～」です。研究テーマをご存じですか。

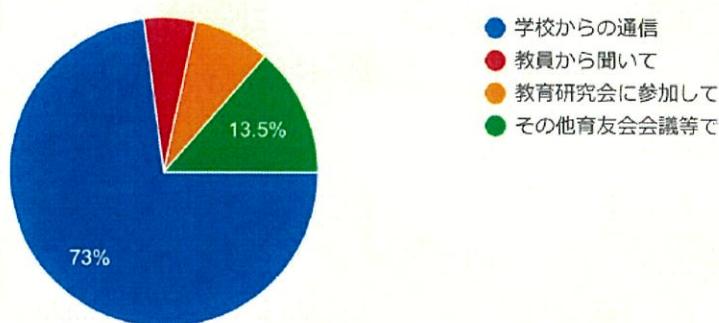
40 件の回答



I-1, I-2どちらかに「知っている」「大体知っている」と回答した方について

Q2 どのような方法で知りましたか。

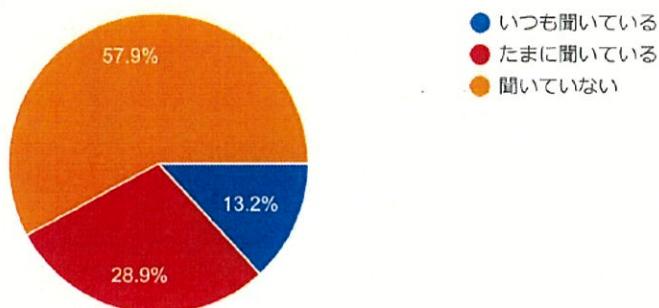
37件の回答



令和3年度の学校研究について

Q3 ご家庭でお子様から国語の授業で取り組んだ内容を聞いたことがありますか。

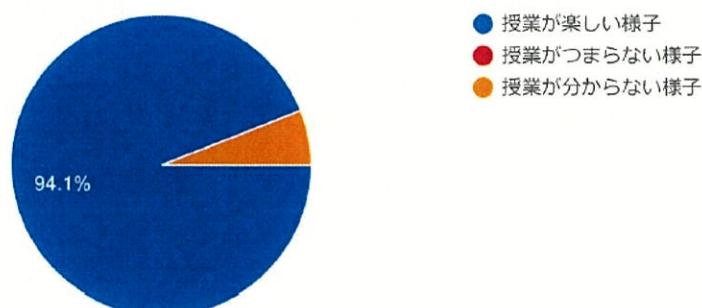
38件の回答



「いつも聞いている」「たまに聞いている」と回答した方は Q4 の質問へ

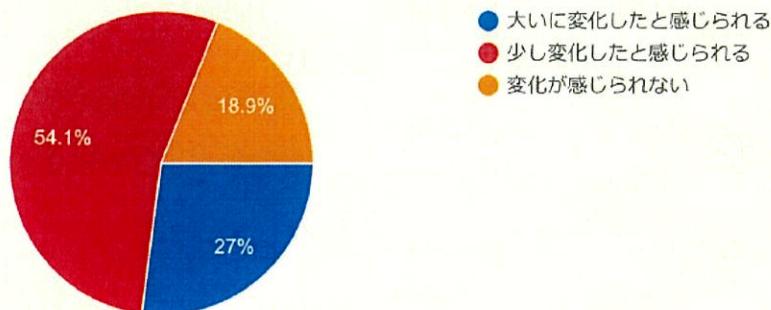
Q4 その時のお子様の様子は以下のどれに当てはまりますか。

17件の回答



Q5 この1年間のお子様の成長の様子から、お子様の言語活動、コミュニケーション力、他者との対話力や共同性が変化したと感じられますか。

37件の回答



「大きいに変化したと感じられる」「少し変化したと感じられる」を回答した方は Q6 へ

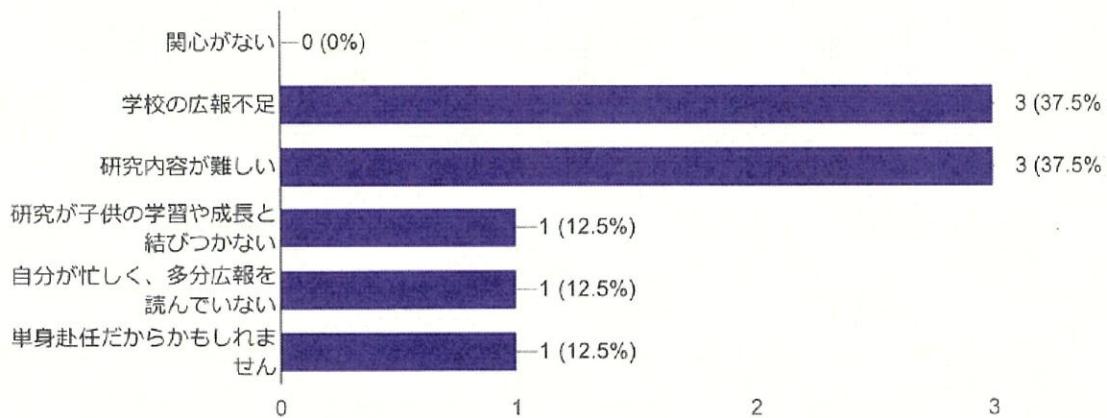
Q6 お子様のどのような様子からそう感じたのかについてのご意見

- ・発語はもともと難しい娘ですが、聞いた事・見た事に対する理解力がかなり上がったと思ったため。
- ・話し方が上手になった。知っている言葉が増えた。確認しながら話すようになった。(多数)
- ・普段の何気ない会話の節々に表現が豊かになったと感じることがあった。
- ・その時その時の自分の考え方や意見を、私たち保護者に伝えようとする機会が増えたように感じました。また、他者の意見も認めようとするような会話もありました。など

Q1-2 で研究テーマを知らなかった方へ

Q7 知らなかった要因に当てはまるものを選んでください。 (複数回答可)

8件の回答

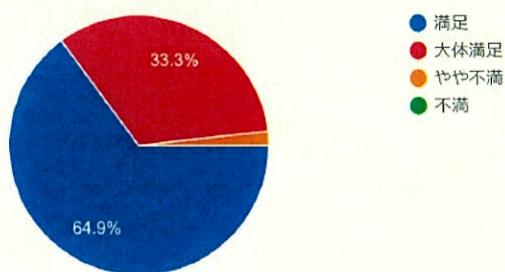


令和3年度 学校経営自己評価の参考資料 とするためのアンケート

57件の回答

1 お子様の学校での学習活動について

57件の回答



1についてご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

言葉や運動面に遅れがあることから、他者のスピードについていけなかつたりと、どうしても活動やコミュニケーションに、消極的なりがちなので、そこを考慮して、教員のゆっくりとした丁寧な言葉でのやりとりや動きで、他児との関わりの支援だったりを含め、をまた引き続きお願いしたいです。今年度は、コロナ禍の中でも、いろいろな活動や学び(オンラインなど)にも、ふれられたと思います。ありがとうございます！と思える授業や関わりを、お願い致します。

子供のレベルに合わせた指導を行なっていただいていると思います。

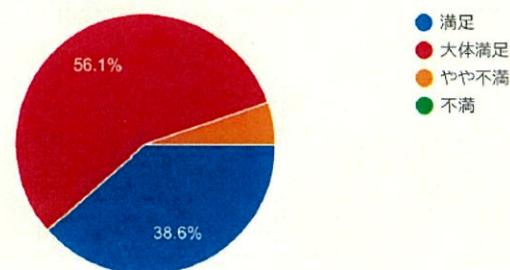
先生方が一生懸命そして楽しく指導して下さっています。息子も学校に行くのを楽しみにしていると思います。

子どもに問題があり、ついていけないと感じる

年々出来ることが増えていっている

2 コロナ禍の学校行事について

57件の回答



2についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

今年度は、卒業式で、在校生が急遽参加できなくなり、とても残念でした。3年前コロナの出始めで、卒業式、入学式は、在校生もおらず、すこしさみしい思いがあります。送られる生徒も送る生徒も、また卒業式は学部のお別れ会とまた違った経験のものかと

来年度こそは、コロナ禍の中でも、なんとか、工夫をして、参加できる体制になればとおもいます。

感染対策が難しい児童たちですが、しっかり対応してくださっていると思います。

出来ないことも多かったですが、仕方ありません。

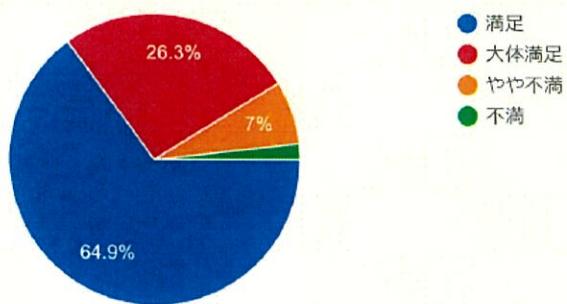
このコロナ禍がどれだけ長引くのかわかりませんが、ニューノーマルなりのやり方を模索してもう少し行事ができたらよいなと思います。

子供ばかりが締め付けを受け、学校生活の思い出がないのは可哀想ですね。

コロナ禍にも関わらず、ほんもの学習など課外活動に取り組んで頂きありがとうございました。生徒同士の交流から学ぶことは多いと思います。今後もこのような機会があれば、と思います。

3 お子様や保護者への教員の対応について

57 件の回答



3についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください

娘の特徴をとらえて対応してもらっています。今年度も、担任とのやりとりの連絡帳も、きちんと子どもの様子が伝わり、すごく娘のいいところを見ていてくれてるなと感じられ、教員のかかわりの意図目的なども分かりやすく、家族や祖母と共有し、とても楽しく読んで、娘との会話も弾み、会話力にとてもつながりました。

保護者の疑問への受け答えも、スピーディーに、きちんと誠実に答えてくれ、「なるほど！」と言って一度共感して、行動にうつしたり、返答してくれたり、こちらも、きもちよく子どものことを話すことができました。

先日の自宅待機になってしまい。急遽お別れ会をオンラインでお願いしたいと提案したときも、前向きにとらえて、職員皆さんで協力して頑張ってくださって、ほんとうに嬉しかったです。柔軟な対応で、娘も私も、よい体験になりました。

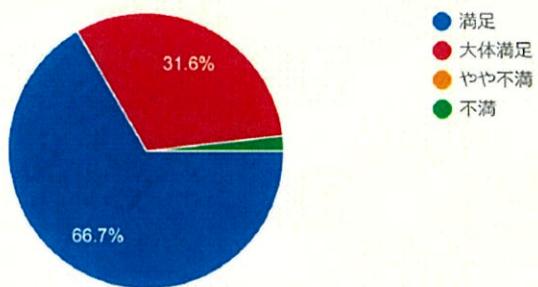
ほんとに、ありがとうございました。

子供に対しては子供のペースにあわせて指導していただけていることに感謝します。保護者に対してはこまめに学校での様子を連絡していただいた事が良かったです。うちの場合は、話せないですから、本人からは学校での様子はわからないので、先生からの連絡だけが情報だったので、ありがたかったです。

いつも笑顔で真摯に対応して下さっています。

4 学校の安全体制（防災教育など）について

57 件の回答



4についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

ここに、書くのかわかりませんが、今年度は、人命救助も学ぶ機会があり、とても勉強になりました。また継続的に開催してもらえると、さらによいかとおもいました。あと、このような時代で、不審者の学校の対応対策など取り組みやの共有や、不審者への防御のやり方などの講習、訓練もあっても良いかとおもいました。

学校に入学した時、防災リュックを置いておくというシステムに感動しました。
どこでもやっているのかな？
すばらしいと思います。

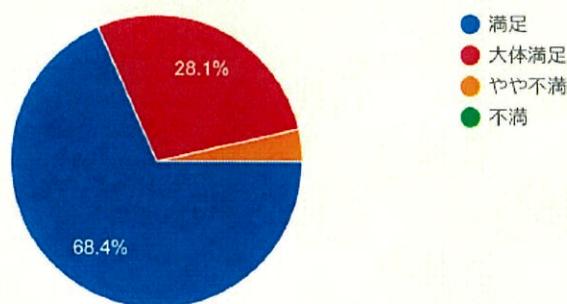
学校の体制や防災教育などはしっかりやっていると思う。ただうちの子供に関しては、それをどの程度理解して実践できるのか、結構難しいのではないかと思う。このレベルの子にも合わせた内容を可能範囲で付加してもらいたい。

詳細が分かりませんので何とも言えないですが必要なことはされていると認識しています。

防災に力を入れていることは感じられていいと思う。ただ、子どもが対応できているかは疑問。仕方ないと思っている。

5 LINE配信や通信等広報について

57 件の回答



5についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

LINEできたり、メールできたり、連携ができないなと思います。
どちらかに統一するか、どちらも同じ内容を発信するかにしないと、情報の取り忘れ
が起こりそうです。

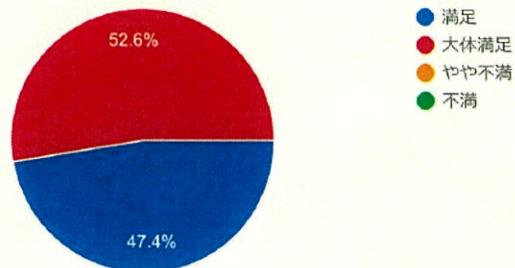
今年度かなりいろいろなことにLINE、メール等を使うようになってきて良かったと思
う。もちろんいろいろ対面でやることは必要だが、現状ではもっといろいろなこと(主
に学校からの連絡)にオンラインを使用していった方が良いと思う。

今まで良いです。

ラインは情報が早くいいと思う。ときどきメールと内容がダブっていることがある
のがちょっと...。添付の予定表の文字がとても細かい。もう少しフォントを大きく出来
ないのかな、とは思う。

6 コロナ禍での育友会活動について

57 件の回答



6についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

今年度は、コロナ禍でもいろいろ工夫して、活動してくださりありがとうございました。

来年度は、どうなるかはわかりませんが、施設見学や、卒業生の親にきくなどの講義など、オンラインなどを活用したり、施設にも協力してもらって、少しずつ、やれる方向になら、いいなと思います。

模索しながらだったので、あまりできなかったのは仕方ありません。

でも1つでも出来ることを増やしてほしいです。

新しく入学された方はお互いの交流も少なく、不安だと思います。

コロナ禍にも関わらず、創意工夫して行事を開催して頂きありがとうございました。

やはり各種イベントが開催できなかった事は非常に残念だった。育友会の目的のひとつである保護者間の親睦や情報交換という面がそのためにあまり実現出来なかったよう思う。ただそんな中でも、役員の方々が工夫努力していただきて、できることを模索して実行していただいた事は大変良かったし、感謝している。

7. その他、学校全般を通してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

コロナの感染対処ったり、豪雪のなかの開校だったり、大変だったとおもいます。そんな不安定な中、なんとか今年度も、登校させたこと嬉しくおもいます。来年度は、以前のような授業に、もどるのは無理かもですが、できるだけやれるような工夫があるなら、少しずつやれる方向に向かっていってほしいです。
また、家庭でもやれることを協力していけたらとおもいます。
今年度も、ほんとに、ありがとうございました。

もうすぐ卒業です。6年間大変お世話になりました。
コロナ以前はたくさんの行事や集まりがあり、積極的に参加させて頂き、楽しい思い出もたくさんできました。
コロナには苦しめられていますが、なんとか子供たちにたくさんの思い出ができますように。
今後は卒業生として、陰ながら見守り、応援しております。

このコロナ禍において先生方の苦労はとてつもないものであったろうと思います。そんな中でも子供達を守りながら、いろいろな創意工夫をされて出来る事を精一杯行い、無事1年が、コロナ初めからなら2年が、過ごせたことを大変感謝しております。これからも子供達1人1人に寄り添って指導を行う学校であって欲しいと思います。それを行っているのがこの学校の特徴、魅力だと思っています。

7 令和3年度卒業生の進路先

(1) 卒業生数 男子7名 女子1名 計8名

- (2) 進路先 A self-A ハニービー神田 (就労継続支援A型) 予定
- B 社会福祉法人 あおぞら福祉会
工房シティ (生活介護)
- C グローブルふくひさ (就労継続支援B型)
- D 株式会社日研環境サービス (一般企業)
- E 社会福祉法人むつみ会 多機能型事業所
若草福祉作業所 (就労継続支援B型)
- F ぴあもーる (就労継続支援B型)
- G 社会福祉法人 清風会
夢工房 (就労継続支援B型)
- H ワークショップオアシス (就労継続支援A型)

(3) 過去5年間の進路状況

卒業年度	H29	H30	R1	R2	R3	合計
企業	4	1	5	2	1	14
就労継続A型	1	0	1	1	2	5
就労継続B型	0	4	1	3	4	12
就労移行支援	0	1	1	0	0	2
生活介護	1	1	2	1	1	6
その他	1	0	0	1	0	2
合計	7	7	10	8	8	40

就労率 35%